

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと①

年 組 番 名前

山本さんたちは、全校集会で歌う歌を決めることにしました。次は、【各学年からの希望】をもとにした【話し合いの様子の一部】です。山本さんたちがどのように話し合いをしているのか、その説明として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【各学年からの希望】

各学年からの希望を
もとに、全校集会で歌う
歌を決めよう。

- ・音楽の時間に習った歌 (一年)
- ・みんながよく知っている歌 (二年)
- ・テレビ番組の主題歌 (三・四年)
- ・歌しを見なくても歌える歌 (五・六年)

【話し合いの様子の一部】

山本 一年生が希望している、音楽の時間に習った歌なら、二年生が希望している、みんながよく知っている歌にも当てはまるかもしれないよ。

小野 音楽の時間に習った歌の中には、テレビ番組の主題歌もあるね。

松原 そうだね。テレビ番組の主題歌の中には、歌詞を見なくても歌える歌もあるかもしれないよ。

小野 それなら、みんなの希望を生かせそうだね。ぼくたちで候補の歌を挙げて、アンケート調査をしてみたらどうかね。

山本 それはいい考えだね。

～(話し合いが続く)～



- 1 各学年からの希望を比べて、ちがう点を見つけながら話し合っている。
- 2 各学年からの希望を関係づけながら、希望に合う歌を選ぼうと話し合っている。
- 3 各学年からの希望をもとに、目的に合わないものを見つけようと話し合っている。
- 4 各学年からの希望それぞれについて、関係する歌を多く出そうと話し合っている。

答え

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと②

年 組 番 名 前

岩村さんの学級では、みんなが参加でき、多くの人とふれ合えるように、「みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう」という案が出されました。それを議題として話し合いをしています。次は、話し合いの内容を黒板にまとめた【記録の一部】です。まとめ方の説明として最もふさわしいものを、1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【記録の一部】

〈議題〉 みんなで遊ぶ日の遊びを見直そう

一部の人としかふれ合えない	苦手な人があまりいない	多くの人とふれ合える
	・すごろく ・おはじき ・あやとり ・竹馬	
	苦手な人がいる	

1 出された「遊び」を、場所やルールごとにそれぞれ整理している。

2 提案の理由に合わせた複数の観点を決め、それらに合わせて「遊び」を分類している。

3 出された「遊び」を、みんなが参加できると考えられる順番に上から並べている。

4 一つの「遊び」を取り上げ、そこからほかの「遊び」を連想して広げている。

答え



たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと③

年 組 番 名 前

次は、去年の選抜高等学校野球大会開会式での【選手宣誓の一部】です。
 の表現は、話し手がどのようなふうをすることで、どのような効果を生み出そうとしていますか。その説明として最もふさわしいものを、あとの1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。
 (解答の順序は、問いません。)

【選手宣誓の一部】

宣誓。東日本大震災から一年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみに暮れている方がたくさんいます。
 人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことです。しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、

日本中に届けます。感動、勇気、そして笑顔を見せましょう。日本の底力、絆を。

〃 (宣誓が続く) 〃

(第八十四回選抜高等学校野球大会開会式選手宣誓による。)

※1「宣誓」…多くの人の前でちかいを述べること。

※2「復興」…もとのように再び盛んになること。

※3「絆」…人と人との強いつながり。



- 1 人や物、出来事^{できごと}を、ほかの何かにたとえることで、想像しやすくしようとしている。
- 2 伝えたい内容を短い言葉で区切って並^{なら}べることで、思いを明確にしようとしている。
- 3 同じ言葉を何度もくり返して使うことで、伝えたいことを強調しようとしている。
- 4 動きや音声を言葉で表すことで、その場の様子を分かりやすくしようとしている。
- 5 言葉の順番をくふうすることで、聞き手に伝えたいことを印象づけようとしている。

答え

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと④

年 組 番 名前

次は、代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【青木さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよこれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組みんでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。

そこで美化委員会から、来月の全校美化週間に
おいて取り組みことを、次のように提案します。
それは、「さ・し・す・せ・そ」を合い言葉
に取り組むことです。

- ① さ…さっと取りかかり
 - ② し…しずかに
 - ③ す…すみずみまで
 - ④ せ…せいっぱい
 - ⑤ そ…そうじをしよう
- これらを合い言葉に、みんなで力を合わせ、
きれいな学校にしていきましょう。
（提案が続く）

【青木さんの心の中の声】

A そうじに対する取り組みの問題点などを
もとに、提案しているんだな。

B 六年生は、「さっと取り
かかり」と「すみずみまで」
については、あまりできて
いないような気がするわ。

C 低学年にも分かりやすいな。これ
なら、そうじのときに合い言葉とし
て声をかけ合うことになるだろうか
ら、きつと効果が上がるわ。



- 1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。
- 2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- 3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。
- 4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問ぎもんをもちながら聞いている。
- 5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。

A
B
C

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと⑤

年 組 番 名 前

松山さんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、立場を決めて話し合うことになりました。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

司会 自分たちの言葉の使い方を見直すために、今日は「生活の中で使っている言葉はみだれているか」について、三人の代表の人に考えを発表してもらいます。そして、その意見をもとにして、自分はこの言葉はどう使っていくとよいかについて全員で話し合い、考えていきましょう。それでは田中さんから、発表をお願いします。

田中 ぼくは、言葉はみだれていると思います。調べてみると、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるということが分かったからです。文化庁の「国語に関する世論調査」では、「役不足」という言葉について、「本人の力量に対して役目が軽すぎる」という本来の意味を選んだ人は四十一・六パーセントでした。半数以上の人は、本来の意味とは異なる使われ方をしているようです。

北川 私わたしも、言葉はみだれていると思います。なぜなら、言葉を省略して話す人が多いからです。例えば、「今年もよろしくお願いします」を「ことよろ」と言うことがあります。省略すると相手や場に合っていない言葉になったり、意味が分からなくなったりすることがあると思います。

小池 私は、言葉はみだれていないと思います。例えば、「全然」は「全然ない」のように、あとに打ち消しの言葉がくるときに使うことが多いのですが、最近では、「全然いい」という使い方をする人もいます。また、辞書によると、あとにくるのが打ち消しの言葉に限らない時期もあったそうです。このように、時代によって言葉の使われ方は変わるから、今までとはちがう使われ方だとしても、言葉がみだれているとは言えないと思います。



司会

ありがとうございます。それぞれの発表に対して質問はありませんか。

★木村

小池さんに質問があります。時代によって使われ方が変わった言葉は、「全然」以外にどのようなものがありますか。

小池

例えば、「見れる」という言葉があると思います。私たちは「見ることができる」という意味で使っていますが、辞書には、本来は「見られる」と言うべきものと書かれていました。

司会

ここまで代表の人に考えを発表してもらいました。田中さんは、本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉があるから言葉はみだれているという考え、北川さんは、言葉が省略して使われているから言葉はみだれているという考えでした。小池さんは、言葉の使われ方は時代によって変わるものだから言葉はみだれていないという考えでした。三人の意見について、みなさんはどう考えますか。

金子

田中さんが話したように、ぼくも本来の意味とは異なる使われ方をしている言葉は確かに多いと思います。これからは、よく使っている言葉でも、疑問をもったときは意味を調べてみたいと思います。

青木

本来の意味とは異なる使い方をしていると田中さんは言っていました。そのような使い方をしても、自分の思いが相手に伝わることはあると思います。相手の理解を確かめながら言葉を使っていこうと思います。

◇司会

金子さんや青木さんは、これから言葉をどのように使っていききたいかについて話していました。みなさんも、そのことについての自分の考えも話してください。

松山

（話し合いが続く）

レベル6

一 【話し合いの様子の一部】の★木村さんは、何のために質問をしたと考えられますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 発表の中で自分が聞きのがしたことをもう一度聞くため。
- 2 相手の考えの中で最も伝えたいことをたずねるため。
- 3 相手の考えとその理由のつながりを明らかにするため。
- 4 具体的な例がほかにもあるかを確認するため。

一

レベル6

二 【話し合いの様子の一部】の司会は——部のように発言することによって、この話し合いの中でどのような役割を果たそうとしていると考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合うことを明確にするために、三人の立場と理由を整理しようとしている。
- 2 立場を明確にして話し合うために、最もよい考えを選び出そうとしている。
- 3 活発な話し合いにするために、時間や約束を守るように注意しようとしている。
- 4 発言回数に気をつけながら、話し合いを計画的に進めようとしている。

二

たしかめプリント【小学校五く六年生】話すこと・聞くこと⑥

埼玉県学力学習状況調査



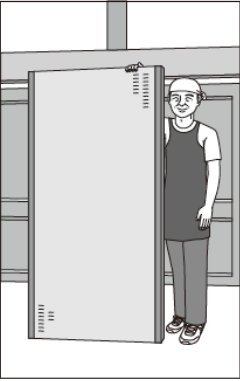
年 組 番 名 前

岸さんは、町の広報誌に取り上げられていた畳職人の大谷さんを、学級の友達に紹介するために、大谷さんにインタビューをすることにしました。次は、「広報誌の記事」、「直接聞いてみたいこと」、「インタビューの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【広報誌の記事】

わが町の達人 ～第25回～

「部屋の床に
畳をぴたりとおさめる畳職人」



大谷さんの仕上げた畳

店主の大谷進さんは、十八歳のころに地元で畳店を営む親方のもとへ弟子入りし、三十歳で自分の店をもった。代々受け継がれてきた畳作りの伝統の技を五十年間守り続けている。

部屋の床にすき間も段差もなくぴたりとおさまる畳を作らせたら、大谷さんの右に出る者がいない。通常、部屋に畳をおさめるときにはわずかな段差などが出るため、その場で調整することが多い。しかし、大谷さんの手にかかれば、そのような調整を一切せずにぴたりとおさめることができる。

「私にとって、畳はとても魅力的なものです。だからこそ、五十年間も職人を続けることができたのです」と大谷さんは話す。

【直接聞いてみたいこと】

・大谷さんはどのような思いや考えをもって、たたみ職人を五十年間続けてきたのだろうか。

・大谷さんが話しているたたみのみりよくとは何だろうか。

【インタビューの様子】

岸さん 大谷さんが達人として紹介されている、町の広報誌の記事を読みました。今日は、大谷さんの仕事への思いや考えなどをお聞きしたいと思います。よろしくお願ひします。

大谷さん こちらこそ、よろしくお願ひします。

岸さん では、早速ですが、広報誌で大谷さんは、「私にとって、置はともみりよくてきなものです」とおっしゃっていましたが、どのようなところにみりよくがあると思われますか。

大谷さん 私の店の置について言えば、全て一点物だということなんです。私は、機械を使わずに、細部までくふうして一枚ずつ手作業で仕上げています。ですから、完成した置は同じように見えても、それぞれに個性があるのです。そこが私にとっての一番のみりよくですかね。

岸さん そうなのですね。それはつまり、

ア

大谷さん そうですね。部屋の大きさに合わせたり、お客様の希望や要望に応えたりするのは、職人としての腕の見せどころですからね。

岸さん 職人としての腕をみがくために、どのようなことを親方から教わったのですか。

大谷さん 親方から直接教わったことはほとんどありません。

岸さん では、どのようにして腕をみがいたのですか。

大谷さん 畳たたみを作る技術やお客様への接し方は、とにかく親方の仕事ぶりをよく見ていました。

岸さん 大谷さんは、親方の姿すがたをよく見て技術や接し方を身につけたのですね。

大谷さん いやいや、見るだけでは身につけられません。「習うより慣れよ」ということわざにもあるとおり、実際に自分でやってみることを何度もくり返すのです。私はとても不器用なので大変さがありました。何とか親方のようになりたいと思いつつながら、修業しゅぎょうをしていました。

岸さん そのような思いをもっていただけですね。大谷さんは、他に、どのような思いや考えをもって、五十年間仕事を続けてきたのですか。

大谷さん 思いや考えですか。なかなか難むずかしい質問ですね。

岸さん すみません。では、五十年間仕事を続けてきた中で大切にしてきたことや心構えはありますか。

大谷さん そうですね。五十年も職人をしていいますが、いまだに完ぺきだと思える仕上がりはありません。だからこそ、自分が一人前になったと思わず、次こそはもっとよいものを作ろうと挑戦ちようせんし続けるのです。これが、ずっと大切にしてきたことですかね。

岸さん お話を聞いて、大谷さんの仕事への思いや考えが分かりました。特に、

イ

またぜひお話を聞かせてください。今日は本当にありがとうございます。

レベル6

一【インタビューの様子】の ア で、岸さんは、自分の理解が正しいかどうかを かく確認しようと思いい、質問をしています。その質問として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 十八歳から五十年間も、畳職人という仕事を続けることができたということでしょうか。
- 2 機械を使って一度にたくさん作るので、より多くの人を使うことができるということでしょうか。
- 3 最近作られた畳の中で、特にくふうして仕上げたものにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 4 細部まででないに手作業で作るので、一枚も同じものはないということでしょうか。

レベル7

二【インタビューの様子】の で、岸さんは、――部のようにくふうして質問をしています。そのくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 相手の思いをさらに引き出すために、相手がかくり返し発言した言葉を用いながら質問をしている。
- 2 相手に質問をする理由を理解してもらえようように、インタビューの目的を伝えてから質問をしている。
- 3 相手が答えやすいように、自分が知りたいことについて言葉をかえてもう一度質問をしている。
- 4 相手の話の中に分からない言葉があったため、その言葉の意味を確かめる質問をしている。

三 岸さんは、インタビューの最後に、大谷さんの仕事への思いや考えに着目して、特に心に残ったことを伝えようとしています。【インタビューの様子】の **イ** に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【インタビューの様子】の大谷さんの発言から、言葉や文を取り上げて書くこと。
- インタビューとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

特																					
に																					
			◆																		

30字